

小学校の部 優秀賞

四国防災八十八話 第40話 弟のおかげ

ぼくが家族の命を守る

久良小学校 5年 ほんだ 本多 ゆうたろう 佑太郎

「直ぐに津波が来る。早く逃げんと大変なことになる！」という弟の一言が、家族の命を守ったのだと思いました。地しんが起きたら、すぐに高い場所へとひなんすることの大切さをあらためて感じました。

地しんや津波が起きたときのために、ぼくが備えていることは二つあります。一つ目は、学校での訓練です。地しんが起きたら、すぐに机の下にかくれて身を守ります。ゆれがおさまったら、防災頭きんをかぶり運動場や学校の屋上へとひなんします。どんなときでも、自分たちだけでも冷静にひなんできるようにしています。二つ目は、非常持ち出し品の準備です。ひなんするときにすぐに持っていくことができるように、必要なものを家族と話し合って準備しています。ハザードマップを見ながら、ひなんする場所やひなんする道についても家族と話し合っておきたいと思っています。お話に出てきた弟のように、ぼくも家族の命を守れるような行動をしたいです。